

湖南省こども計画(案)

【令和7年度～令和11年度】

概要版

令和7年 月

湖 南 市

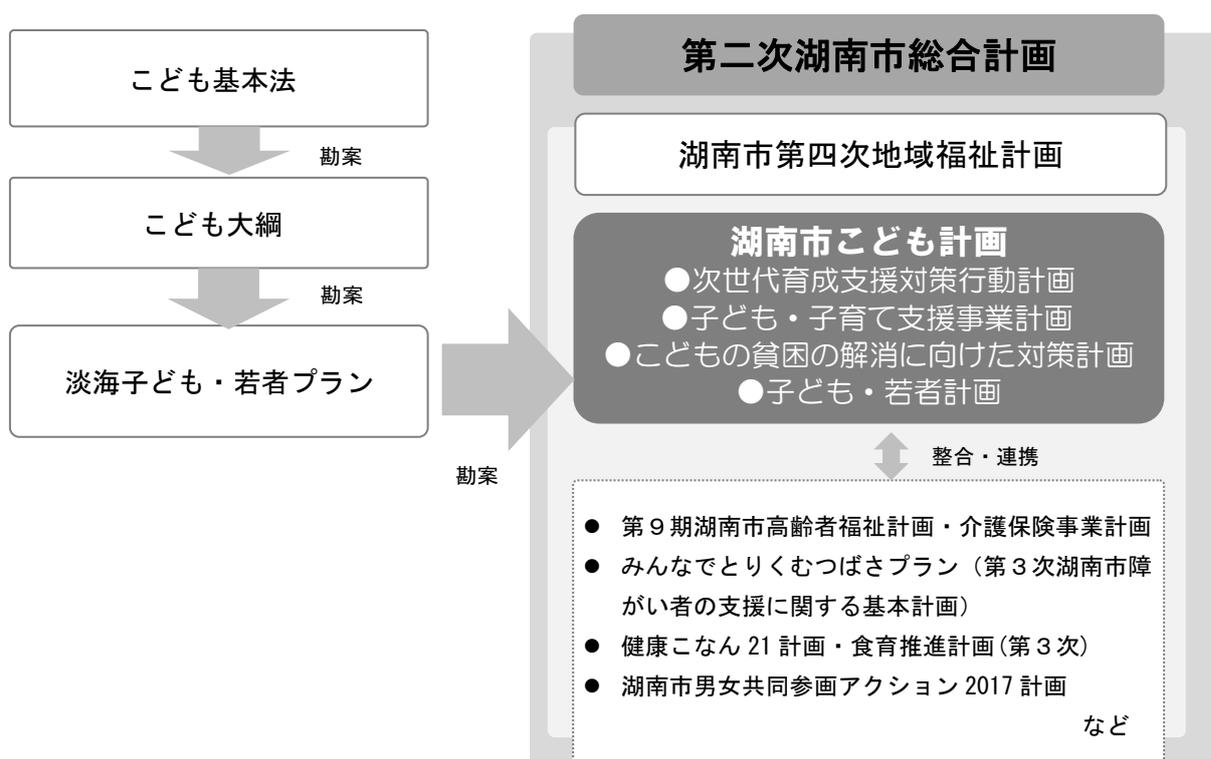
計画の策定の背景と主旨

我が国の急速な少子高齢化の進展は、人口構造にひずみを生じさせ、労働力人口の減少や社会保障負担の増加、地域社会の活力低下など、社会経済への深刻な影響を与えるものとして懸念されています。また、核家族化の進展、地域におけるコミュニティの希薄化、児童虐待の顕在化、経済的に困難な状況にある世帯におけるこどもたちへの貧困の連鎖、ヤングケアラーの潜在、若年層の自殺者数の増加など、こどもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした現状を踏まえ、国では令和5年4月に『こども基本法』が施行され、同時に『こども家庭庁』が発足しました。

本市では、『第2期湖南省子ども・子育て支援事業計画』が令和6年度で最終年度を迎えることから、施策を継続的に推進するとともに、こども基本法やこども大綱を勘案し、すべてのこどもが最善の利益を得られるよう、横断的な支援体制を確立するため『湖南省子ども計画』を策定することとしました。

計画の位置付け



計画の対象

本計画の対象は、こども・若者（おおむね0歳から30歳未満まで。施策によっては40歳未満までを含む）および子育て世帯とします。

基本理念

『第2期湖南省子ども・子育て支援事業計画』で掲げた基本理念を継承し、これからの湖南省を支える子どもたちの成長を地域とともに支え、すべての子ども・若者が健やかに育つことのできるまちをめざします。

すべての子ども・若者の
健やかな育ちを保障するまち
湖南省をめざして

基本的な視点

- (1) 子ども・若者の視点
- (2) 次代の親づくりという視点
- (3) サービス利用者の視点
- (4) 市民全体で支え合う視点
- (5) 仕事と生活の調和の実現の視点
- (6) 妊娠前から妊娠中・出産・育児にわたる切れ目のない支援の視点
- (7) すべての子どもと家庭への支援の視点
- (8) 湖南省らしさの視点

基本方針

基本方針1 みんなで支える湖南省の子どもと子育て

地域や会社と協力して、子どもや子育てしている人を支えられる環境を整えます。妊娠や出産、子育てについて悩む人をサポートできる体制を整えます。

基本方針2 多様なニーズに応える子育て支援

子どもたちが安心して通える保育園や子ども園にします。また、子どもたちが生まれ育った環境にかかわらず、元気に成長できるようにサポートします。

基本方針3 子どもと子育てをとりまく環境づくり

学校教育を充実して、子どもたちの生きる力を育てます。年代に応じた体験、活躍ができるよう、場所や機会を作り出します。

基本方針4 青年期における若者への支援

若者が、自分の思うように勉強したり、希望を持って働いたりできるように、経済的な支援や学習の場の提供、心のサポートを行います。また、若者が積極的にまちづくりに参加できる環境を整えます。

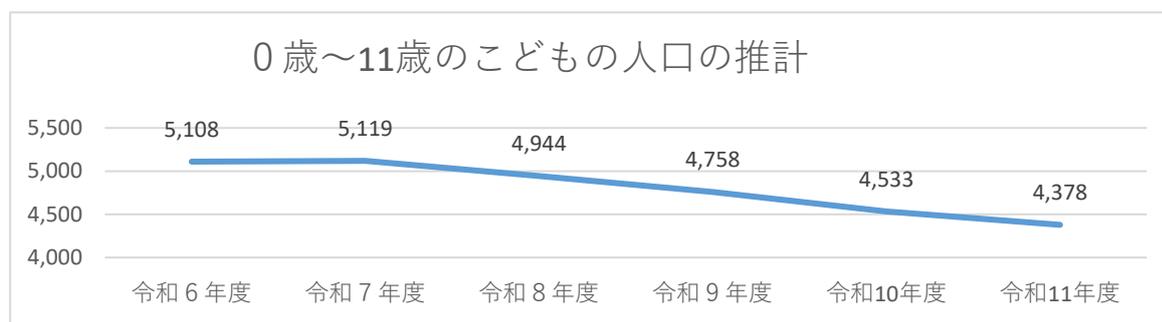
施策の体系

基本方針	施策の方向		関連 取組数
1 みんなで支える 湖南市のこどもと子 育て	(1) 親育ち・親のサポ ート	①親育ち、家庭教育の推進	3
		②子育て応援ネットワークの充実	3
	(2) 仕事と育児の両立 支援	①子育てと仕事を両立できる職場環境づ くり	3
		②働き方の見直しに向けた啓発	3
	(3) 地域で支える子育 て	①地域の支え合い・助け合いによる子育 て支援の充実	3
		②つながりが広がる子育て支援の充実	2
	(4) 子育てにおける多 様なニーズへの支援	①利用しやすい相談窓口とわかりやすい 情報伝達	7
		②経済的な負担の軽減	6
2 多様なニーズに 応える子育て支援	(1) 教育・保育の充実	①教育・保育サービスの充実	5
		②教育・保育内容の充実	2
		③地域に開かれた子育て支援の充実	1
	(2) 保育人材の確保と 育成・資質の向上	①保育人材の確保と資質の向上	6
		②保育園・幼稚園・こども園・小中学校 の連携	2
	(3) 特別な支援を必要 とする児童・生徒へのサ ポート	①児童虐待防止対策と社会的擁護の推進 及びヤングケアラーへの支援	11
		②ひとり親家庭への支援	9
		③発達に支援が必要なこどもへの支援	14
		④外国にルーツを持つこどもへの支援	5
		⑤こどもの貧困対策の推進	3
	4) 多様な子育て支援の 充実	①多様な子育て支援サービスの充実	9
		②放課後児童健全育成事業の充実	3

基本方針	施策の方向		関連 取組数
3 こどもと子育て をとりまく環境づくり	(1) 子育て世帯に対する切れ目のない支援	①安心感のある妊娠・出産の確保と支援	12
		②こどもの成長と発達への支援	6
		③小児医療体制の充実	6
		④職を通じた健康づくりの推進	5
		⑤思春期における健康づくりの推進	4
	(2) 夫婦がともに担う子育て	①男性の子育て参画促進	3
		②ワーク・ライフ・バランスの推進	2
	(3) 児童・生徒・若者の育成	①生きる力を育む学校教育の充実	13
		②社会性を育む多様な体験活動と遊び場環境の充実	7
	(4) 安心・安全な子育て環境	①ユニバーサルデザイン・快適な環境づくり	1
②防犯・交通安全		10	
4 青年期における若者への支援	(1) 高等教育の修学支援	①学びたい若者への支援	3
		②悩みや不安を抱える若者への支援	5
	(2) 就労支援、雇用と経済基盤の安定	①若者への就労支援	4
		②若者にとって魅力ある地域づくり	4

子ども・子育て支援事業量の見込みと確保方策

児童数の推計



幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制

ニーズ調査結果、人口推計などから、各認定区分に応じた量の見込みを以下のとおり見込み、確保方策を定めました。

【令和7年度】

単位：人

	1号認定	2号認定		3号認定	
		幼稚園を希望	左記以外	1・2歳	0歳
児童数（推計）	1,127		694	328	
量の見込み	210	99	796	441	127
確保量					
確保量	564	935	490	128	

【令和11年度】

単位：人

	1号認定	2号認定		3号認定	
		幼稚園を希望	左記以外	1・2歳	0歳
児童数（推計）	999		660	309	
量の見込み	186	87	706	419	120
確保量					
確保量	564	935	490	128	

【今後の方向性】

石部中学校区・甲西北中学校区において宅地開発などにより、住宅が増加見込みであり、施設整備が必要となります。既存園、法人などに受入定員の増員や施設の整備などを働きかけ、教育・保育の受け皿を充足させ、今後も待機児童が出ないよう取組むとともに保育サービスの拡充を図っていきます。

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制

事業名	ニーズ量 確保量	令和7年度	令和11年度
利用者支援事業	実施個所数(確保方策)	5か所	5か所
時間外保育事業	ニーズ量	60人	47人
	確保量	60人	47人
放課後児童健全育成事業 (学童保育所)	ニーズ量	928人	989人
	確保量	928人	989人
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	ニーズ量	18人	18人
	確保量	18人	18人
乳児家庭全戸訪問事業	実施体制(確保方策)	328件	309件
		実施体制:16人体制	
地域子育て支援拠点事業	実施体制(確保方策)	11,600人	12,300人
		実施体制:5か所	
一時預かり事業 (在園児対象型)	ニーズ量	10,599人	11,300人
	確保量	10,599人	11,300人
一時預かり事業 (在園児対象型を除く)	ニーズ量	2,257人	2,307人
	確保量	2,257人	2,307人
子育て援助活動支援事業	ニーズ量	371人	350人
	確保量	371人	350人
子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)	ニーズ量	0人	0人
	確保量	0人	0人
病児保育事業	ニーズ量	1,394人	1,277人
	確保量	1,394人	1,277人
妊婦に対する健康診査	ニーズ量	3,886件	3,661件
	実施体制(確保方策)	実施場所・実施体制:医療機関 実施時期:随時(1人あたり14回)	
養育支援訪問事業	ニーズ量	27世帯	27世帯
	実施体制(確保方策)	実施体制:4人体制	
子育て世帯訪問支援事業	ニーズ量	120世帯	120世帯
	確保量	120世帯	120世帯
妊婦等包括相談支援事業	ニーズ量	826人回	805人回
	確保量	826人回	805人回
乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)	ニーズ量	(R8)25人	23人
	確保量	(R8)25人	23人
産後ケア事業	ニーズ量	84人	84人
	確保量	84人	84人

計画の推進体制

本計画は、福祉、保健、医療、教育、労働、生活環境など多岐にわたっていることから、関係機関、団体、企業などと連携しながら、全庁的に取り組み、総合的かつ効果的な推進を図ります。また、行政組織だけでなく、引き続き、園や学校などの関係機関をはじめ、社会福祉協議会、民生委員・児童委員および地域で子育て支援を実施している担い手の方たちの協力と参加のもとに推進していきます。

計画の進行管理

計画に基づく施策の実施状況を年度ごとに把握・点検するとともに、また、学識経験者などから構成される「湖南省子ども・子育て未来会議」を継承し、進捗状況の確認や検討などを進めていきます。

市民ニーズへの的確な対応、社会・経済情勢や国の動向の変化に適確かつ柔軟に対応するため、PDCAサイクルによって数量的な進行管理や、計画の評価、検証を行い、施策や方針の見直しを行っていきます。